

ことわざ・慣用句シリーズ

ここでは毎月、覚えておきたいことわざと慣用句を取り上げます。みなさんはどのくらい知っていますか？

慣用句

『お茶をにごす』

意味: その場を上手にとりつくること。

ひとこと: “ごまかす”こと。

使い方: 夏休みの自由研究は、お天気調べを少しやっただけでお茶をにごした。

『折り紙をつける』

意味: 確かなものであると保証すること。

ひとこと: “これは誰々の折り紙つきだから信用できる”という言い方もする。

使い方: 君の学力なら難しいA高校も合格できると先生に折り紙をつけてもらった。

ことわざ

『負(お)うたこに子に教えられえ』

意味: 自分より未熟なものに教えられること。

ひとこと: 背中に乗せた子に浅いところを教えられながら川を渡ることからきた言葉。

使い方: 赤信号で道を渡ろうとして、幼稚園の弟に教えられるなんて、まるで負うたこに教えられるだな。

『鬼(おに)に金棒(かなぼう)』

意味: 強いものがいっそう強くなること。

ひとこと: ただでさえ強い鬼が金棒を持つことでもっと強くなることから。

使い方: 僕らのチームに先生が加われば鬼に金棒だ、この試合絶対勝てるぞ。